

市町村名	北谷町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	アラハビーチ周辺魅力向上事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ア) 観光客の受入体制の整備	
担当部署名	建設経済部	土木課	事業実施 年度	令和 1	～ 令和 1	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	本町の主要な観光地の一つである安良波公園の機能強化を目的とし、本公園の主要施設であるインディアンオーク号改良及び周辺整備工事を行い、観光施設としての魅力度向上を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額 ・執行額 【単位:千円】		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
	A. 予算現額	200,000				200,000	
	B. 執行済額	189,761				189,761	
	うち 交付金充当額	151,808				151,808	
	執行率(%) (B/A)	94.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	94.9%	
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル製作品であるため資材の単価調査に不測の日数を要し、翌年度に繰り越した。 ・不用額10,239千円については、入札残である。 						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			○年度	○年度	○年度	○年度	R1年度
	インディアンオーク号改良及び周辺整備工事の施工	目標					改良工事、周辺整備工事の実施
		実績					改良工事、周辺整備工事の完了
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			○年度	○年度	○年度	○年度	R1年度
	インディアンオーク号改良及び周辺整備工事の完了	目標					完了
		実績					完了
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R3年度	○年度	○年度	○年度	R3年度 目標/発現年度
	安良波公園利用者数		目標	50万人			50万人
			実績	21万人			
			目標				
		実績					
状況説明		【R3年度】 ・公園利用者数は21万人となっており、目標を下回っている。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R3年度】 ・公園利用者が目標値を下回っていることについて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による観光客の減少及びビーチを含め施設の利用制限が相次いだことによる影響があると考えられる。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			【R3年度】 ・新型コロナウイルス感染症の流行状況を注視し、引き続き安良波公園の利用者の計測を行う。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R3年度】 ・引き続き関係各課と連携し、施設の整備完了の情報を、観光プロモーション関連事業において観光PR動画等で当該施設の紹介を行うなど、継続的にPR活動を行う。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・							

市町村名	北谷町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	ICT教育推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
担当部課名	教育部	学校教育課	事業実施 年度	令和 2年度	～ 令和 2年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	町内の4小学校2中学校に教授用タブレットを整備し、教材研究及び電子黒板と接続し活用することでより魅力的で分かりやすい授業環境を整え、学力の向上を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計	
	A. 予算現額	30,360				30,360	
	B. 執行済額	28,860				28,860	
	うち 交付金充当額	23,088				23,088	
	執行率(%) (B/A)	95.1%				95.1%	
執行状況の説明	不用額の1,500千円は予備機分及びソフトウェアライセンス分を補助対象外経費としたことによるものである。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	教授用タブレットの整備	目標	193台				
		実績	193台				
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	教授用タブレットの整備の完了	目標	完了				
		実績	完了				
		目標					
		実績					

事業完了後の取り組み						
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 目標/発現年度
	事業完了後の成果目標	児童生徒へのアンケート調査を実施 ICT機器を活用した授業の分かりやすさ	目標	80.0%		
実績			97.7%			
教員へのアンケート調査を実施 ICT機器活用の習熟度が上がった		目標	80.0%			
		実績	90.5%			
状況説明	<p>【令和3年度】 ・アンケートの調査結果により、ICT機器を使った授業が分かりやすいと回答した児童生徒が97.7%、ICT機器活用の習熟度が上がったと回答した教職員が90.5%と目標を上回っている。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
<p>【令和3年度】 ・各学年・各教科の授業において教授用タブレットや電子黒板等のICT機器類を日常的に活用しており、アンケート調査結果からも本整備が効果的ということがかかえる。 ・1人1台の学習者用端末が整備されたことにより、ICT機器類の更なる活用促進が期待できる。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>			<p>【令和3年度】 ・ICT支援員の授業支援や校内研修をすることで教職員のICT機器活用の習熟度をより高める必要がある。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【令和4年度】 ・文部科学省のGIGAスクール構想に基づき、多様な子どもたちを誰1人取り残すことのない個別最適化された学びを実現するため、ICT機器の活用をさらに推進していく。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>						